

2023年度業務実績報告書

提出日 2024年1月11日

1. 職名・氏名 准教授・森本康太郎

2. 学位 博士（心理学）、専門分野 心理学、授与機関 関西大学、授与年 2022年

3. 教育活動

(1)講義・演習・実験・実習
① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 キャリア形成論（2単位）1年次
②内容・ねらい 本科目は一般教育科目として全学部全学科の学生向けに開講された。学生生活の充実とキャリアデザインの関連を確認したうえで、環境・職業理解および自己理解を深め、自身の目指すキャリアデザインを検討することを目的とした。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 ・主に1年次を対象としていることから、初年次教育としての側面を考慮し、高校から大学への学びの転換の必要性を理解できるよう講義した。 ・社会の動きに目を向ける必要性を認識するため、社会・経済・雇用の動向について新聞記事を中心に用いて解説し、基礎知識の定着を図った。 ・情報関連企業よりゲストスピーカーを招へいし、社会の変化とキャリア形成に関する講義を行った。 ・毎回の講義でミニッツペーパーの作成を課し、文章作成力の向上を図った。
① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 キャリアデザイン概論Ⅰ（2単位）1年次
②内容・ねらい 本科目は経済学部の専門関連科目として、多くの学生が受講可能とするため、同一内容を①②の二つの曜限で設定して開講された。今後の学生生活を充実させることの意義を確認するとともに、産業や職業世界についての理解を深め、自身の目指すキャリアデザインの基礎固めを行うことを目的とした。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 ・主に1年次を対象としていることから、初年次教育としての側面を考慮し、高校から大学への学びの転換の必要性を理解できるよう講義した。 ・社会の動きに目を向ける必要性を認識するため、社会・経済・雇用の動向について新聞記事を中心に用いて解説した。 ・産業と職業の関係、職業の世界を見る視点、企業等の事業体について解説し、基礎知識の定着を図った。 ・変化する労働環境や働き方について、最新の動向を各種データに基づいて解説した。 ・毎回の講義でミニッツペーパーの作成を課し、文章作成力の向上を図った。
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 キャリアデザイン概論Ⅱ（2単位）1年次
②内容・ねらい 本科目は経済学部の専門関連科目として、多くの学生が受講可能とするため、同一内容を①②の二つの曜限で設定して開講された。本科目では、自己理解を深めることを通じて、自身が目指したいキャリアのあり方について検討したうえで、目指すキャリアデザインを実現するために必要な事項を認識することを目的とした。

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 ・多面的に自己を理解するために、多くの講義で各種のアセスメントツールや尺度、ワークシートを活用した。 ・これらのツールを用いるうえでは、その背景となっている理論を概説し、結果の読み取りを的確に行うための配慮を行った。 ・ストレスへの対応に関心を持つ受講生が多いことから、認知的アプローチを中心としたセルフヘルプについての演習を実施した。 ・県内企業の経営者、本学の卒業生、情報関連企業といったゲストスピーカーを招へいした。 ・毎回の講義でミニツツペーパーの作成を課し、文章作成力の向上を図った。
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 キャリアデザイン特論（2単位）2年次
②内容・ねらい 本科目は経済学部の特設関連科目として、多くの学生が受講可能とするため、同一内容を①②の二つの曜限で設定して開講された。本科目では、キャリアプランニング能力を高め、自己理解に基づいてキャリアデザインを行うとともに、自己表現力を高め、来るべき進路選択や就職活動、職業決定に備えることを目的とした。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 ・自己理解の内容と職業選択との関連を理解するため、各種のワークシートや尺度を用いた演習を多く取り入れた。 ・SDS キャリア自己診断、一般職業適性検査といった信頼性の高い検査を活用し、結果の読み取りを的確に行うよう解説した。 ・就職先の選択にとどまらず、生涯にわたるキャリア発達の考え方について解説した。 ・企業の経営者、本学の卒業生、情報関連企業担当者をゲストスピーカーとして招へいした。 ・毎回の講義でミニツツペーパーの作成を課し、文章作成力の向上を図った。
(2)その他の教育活動
・関西大学社会学部において「職業指導の技術Ⅰ」「職業指導の技術Ⅱ」を担当した。 ・関西大学教育推進部において「キャリア形成入門演習」を担当した。

4. 研究業績

(1)研究業績の公表	
①著書	【0本】
②学術論文（査読あり）	
・森本康太郎（印刷中）. 大学生のイラショナルキャリアビリーフと職業未決定の関連 応用心理学研究 2023年12月6日受理決定. ・森本康太郎（2023）. 就職活動経験から得られた気づきについての事例的検討 技能科学研究, 39, 10-17. 2023年6月. ・森本康太郎（2023）. A大学におけるキャリア教育科目の効果測定の試み 大学教育研究ジャーナル, 20, 29-35. 2023年3月. ・森本康太郎（2023）. 学生用イラショナルキャリアビリーフ尺度作成の試み 応用心理学研究, 48(3), 168-178. 2023年3月.	
	【4本】
③その他論文（査読なし）	
	【0本】
④学会発表等	
・森本康太郎（2023）. キャリアビリーフと境遇活用スキルの関連についての予備的考察 日本人生哲学感情心理学会第26回年次大会 2023年10月29日. ・森本康太郎（2023）. 不合理なキャリアビリーフと大学生の就職活動との関連 2023年度第3回福井県立大学経済学部研究会 2023年10月25日. ・森本康太郎（2023）. 日本語版ポジティブイラショナルビリーフ尺度作成の試み 日本応用心理学会第89回大会 2023年8月27日.	
	【3件】
⑤その他の公表実績	
	【0本】
(2)科研費等の競争的資金獲得実績	
【学内】	
・福井県立大学経済学部部局内競争的資金 ・福井県立大学ステップアップ研究支援（個人研究推進支援）	
(3)特許等取得	
(4)学会活動等	
・日本キャリア教育学会近畿地区部会事務局長（2023年3月まで）	

5. 地域・社会貢献活動

- | |
|--|
| ①-1 委員就任（国）
①-2 委員就任（県）
①-3 委員就任（市町村）
①-4 委員就任（その他公益法人等）
②国・地方公共団体等の調査受託等
③NPO・NGO 法人への参加
④企業等での活動
⑤大学間あるいは大学と他の公共性の強い団体との共催事業等
⑥公開講座、オープンカレッジ、社会人・高校生向けの講座の開講
⑦その他 |
|--|

6. 大学運営への参画

(1)補職
・キャリアセンター副センター長
(2)委員会・チーム活動
・学生支援委員会委員 ・JST 次世代研究者挑戦的研究プログラム（SPRING）公募、博士人材キャリアパス推進に向けた運営チームへの参画
(3)学内行事への参加
・キャリアセンター就職ガイダンス ・キャリアセンター業界研究セミナー ・経済学部第 19 回 SMAP インターゼミナールコンテスト審査委員
(4)その他、自発的活動など
・キャリアセンター主催就職ガイダンスについて、新卒採用環境の変化を踏まえ、新たに 2 年次生を対象とした企画の検討と実施 ・在学生の OBOG 訪問プラットフォーム利用開始に向けた卒業生登録者促進（同窓会との連携、広報課との連携） ・生物資源学科選択科目 A 群「技術と企業」におけるコーディネート（訪問先企業・講師の紹介、プログラム内容の調整） ・全学科教員とキャリアセンターとの懇談実施による情報共有